



録画配信の
2次元コード

千葉 良秋

無所属

産業の振興は地域活性化の原点

◆製造業におけるイノベーション

Q 本市の基幹産業である大手自動車メーカーの工場解体等は地域産業構造のイノベーションを起こすと考えるが、市の見解は

A 環境経済部長 地域経済の基盤として極めて重要な役割を担っている一方、次世代技術の導入を示す動きであると同時に、次世代を担う人材の確保や、グローバル市場の変動に対応する能力も、地域製造業の持続的発展において大きな課題である。製造業の高度化や事業構造の変革を地域経済の強化に結びつけるべく、企業の成長投資や人材育成、産業基盤の安定確保を支援したい。

◆農業振興は農地の集約と集積から

Q 持続可能な地域農業を実現するためには、農地を次世代に引き継ぐため「地域計画」の推進と農地中間管理機構の活用が欠かせないがその取り組みは

A 環境経済部長 農業委員、農業団体、地域の農業者や住民との話し合いをもとに、おおむね10年後を見据えて、農地一筆ごとの利用者の明確化などに取り組み、将来の地域農業のあり方を定め、本年3月に市内を6地区に分けて公告している。「地域計画」の策定により、農地利用者が明確化されることで、将来的な農地の集積・集約化が進み、効率的な農業の実現による生産性の向上につながるものと考えている。



農地集積とドローン活用

その他のテーマ▶AI,IOT,ロボティクスがもたらす技術革新



録画配信の
2次元コード

豊泉 正人

健政会

大阪・関西万博に狭山茶出展／ 市民大学トークセッション

◆LOCAL JAPAN展Tea Journeyへ出展

Q 大阪・関西万博 催事出展の成果は

A 環境経済部長 日本茶インストラクターによる産地ごとの特色を味わう飲み比べ体験や、狭山・鈴鹿の抹茶と生駒市の茶釜を用いたお点前体験、さらに職人による狭山手揉み茶の実演や、約500年の歴史を持つ高山茶釜の製作実演も行われ、日本茶文化に触れ、味わい、五感で楽しむことのできる体験型展示として一定の評価を得たものと認識している。さらに、多くの来場者に狭山茶の魅力を知っていただく機会となり、認知度向上にも成果があったものと捉えている。

◆市民大学コミュニティデザイン学部トライアルのトークセッションは斬新な企画

Q 講演会形式ではなくトークセッションとして開催する狙いは

A 市民部長 若い世代を含む多様な対象が参加しやすい方法を模索する中で実施しているものであり、パネリストと参加者の交流の場も設定しており、参加者がまちづくりについて積極的に考えるきっかけとすること、「まちづくりを担う人材の育成」を目的のひとつとして掲げる、さやま市民大学への関心を高めること、そして、今後コミュニティデザイン学部が実践的な取り組みとなるよう準備していくことを狙いとしている。



狭山市民大学ロゴ

その他のテーマ▶産業労働センターについて